



東証二部上場

証券コード

[3198]

平成31年2月期 第1四半期決算 (補足資料)

SFPホールディングス株式会社



平成30年7月13日

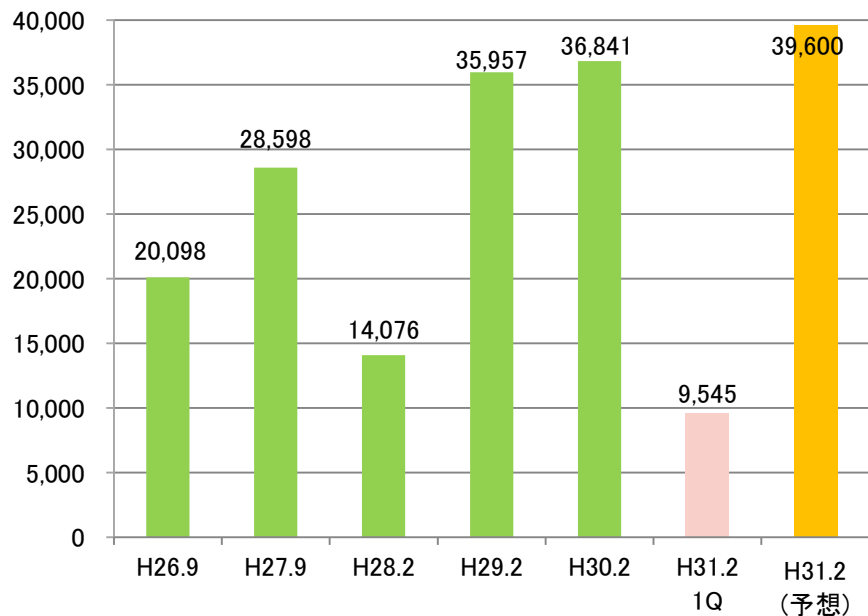
1. 平成31年2月期 第1四半期業績

(1) 業績の概要

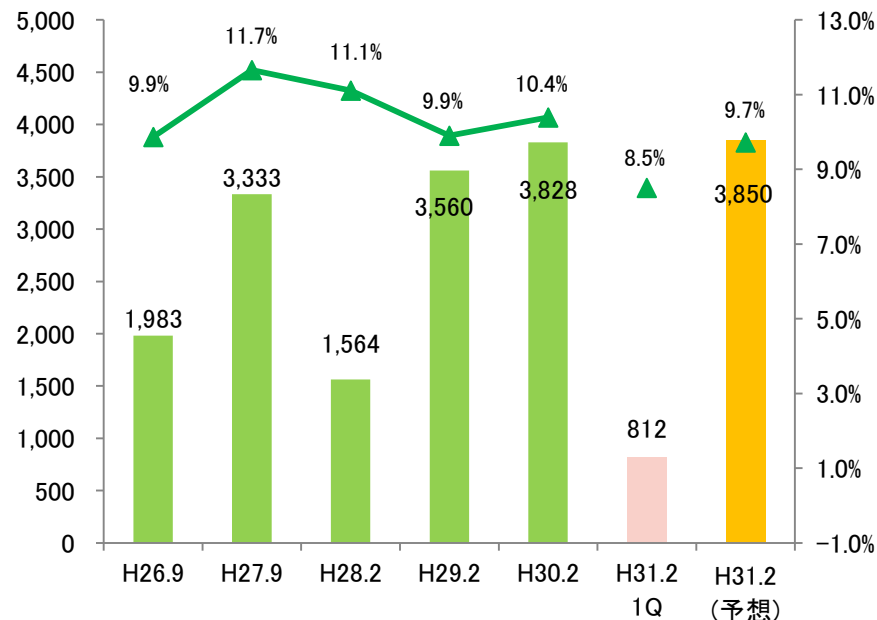
25店の業態転換コストをこなし、業績予想に対し順調に進捗

	平成31年2月期 第1四半期	平成30年2月期 第1四半期	前年 同期比	平成31年2月期 上半期進捗率	平成31年2月期 通期進捗率
売上高	9,545	9,515	+0.3%	49.3%	24.1%
経常利益	812	1,152	▲29.5%	51.9%	21.1%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	520	919	▲43.4%	58.1%	22.1%

売上高



経常利益（左軸）・売上高経常利益率（右軸）



(2) 売上高の内訳

新規出店7店舗及び業態転換25店舗を実施し順調に増収を継続

単位：百万円

	平成30年2月期 第1四半期		平成31年2月期 第1四半期			
					前年同期比	増減額
売上高	9,515	100.0%	9,545	100.0%	+0.3%	+30
鳥良	2,087	21.9%	2,680	28.1%	+28.4%	+593
磯丸水産	6,794	71.4%	5,822	61.0%	▲14.3%	▲972
その他	632	6.6%	1,042	10.9%	+64.7%	+409
	3月	4月	5月	第1四半期計		
既存店前年比	95.9%	95.3%	94.6%	95.3%		

- 鳥良事業
 - ・「磯丸水産」から「鳥良商店」へ20店舗業態転換、前年同期比+28.4%、+593百万円の増収。
 - ・既存店前年比は96.9%。
- 磯丸事業
 - ・事業全体での売上は戦略的な他業態への業態転換（24店舗）により▲972百万円の減収。
 - ・既存店前年比は94.3%。
- その他事業
 - ・「磯丸水産」等から餃子居酒屋「いち五郎」へ5店舗業態転換並びに4店舗の新規出店。事業全体では+409百万円の増収。

(3) 損益計算書の概要

単位：百万円／下段は構成比

	平成30年2月期 第1四半期	実績	平成31年2月期 第1四半期		
			前年同期比	増減額	概要
売上高	9,515 (100.0%)	9,545 (100.0%)	+0.3%	+30	業態転換による休業日は延べ261日（25店） 売上への影響は約▲74
売上総利益	6,793 (71.4%)	6,835 (71.6%)	+6.2%	+42	業態M I Xの変化による （磯丸水産⇒鳥良商店、磯丸水産⇒いち五郎）
販管費	5,725 (60.2%)	6,109 (64.0%)	+6.7%	+383	前年同期比+2店舗の新規出店及び 業態転換25店舗の実施により開業コスト+240 人件費の負担増+100
営業利益	1,068 (11.2%)	726 (7.6%)	▲32.0%	▲341	上期業績予想に対する経常利益進捗率は51.9% 計画に織込み済の開業コストをこなし 順調に推移
経常利益	1,152 (12.1%)	812 (8.5%)	▲29.5%	▲339	
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	919 (9.7%)	520 (5.5%)	▲43.4%	▲398	前年同期に比べ消費税免除益が剥落（▲261）

(4) 店舗展開の状況

	(事業別)				(地域別)			
	鳥良	磯丸水産	その他	合計	東京 23区内	東京 23区外	首都圏 (東京以外)	関西圏 中部圏 九州圏
平成30年2月末	54	141 (7)	23	218 (7)	101	28	72	17 (7)
出店 (a)	0	+3 (+1)	+4	+7 (+1)	+4	0	+1	+2 (+1)
業態転換 による出店	+20	0	+5	+25	+9	+4	+12	0
閉店 (業態転換に よるもの含む)	0	▲24 [▲24]	▲1 [▲1]	▲25 [▲25]	▲9 [▲9]	▲4 [▲4]	▲12	0
平成30年5月末	74	120 (8)	31	225 (8)	105	28	73	19 (8)
平成31年2月期 通期出店計画 (b)	+5	+7	+8	+20	通期出店計画20店舗に対し7店舗出店 (進捗35%)。業態転換計画29店舗に対 し25店舗実施 (進捗86%)。			
(a)/(b)	0%	42%	50%	35%				

※ [] 内は業態転換による閉店数で内数になります。

※ () 内はFC店舗数で外数になります。

(5) 業態転換店舗一覧

既存店からの業態転換を活用することで、スピーディなブランド構築を企図



<東京都>

- 3月 下北沢南口通り店
- 3月 浅草橋駅前店
- 3月 阿佐ヶ谷店
- 3月 武蔵境すきっぷ通り
- 3月 荻窪南口店
- 4月 東大和市駅前店
- 4月 立石店

<東京都>

- 4月 上野6丁目店
- 5月 花小金井北口店
- 5月 西新宿一丁目店

<埼玉県>

- 3月 上尾西口店
- 4月 東大宮東口駅前店
- 4月 越谷ツインシティ店
- 4月 飯能北口店
- 4月 上福岡駅前店

<神奈川県>

- 3月 大船笠間口店
- 3月 小田原錦通り店
- 4月 相武台前北口店

<千葉県>

- 3月 本八幡北口店
- 3月 千葉中央公園前店

<東京都>

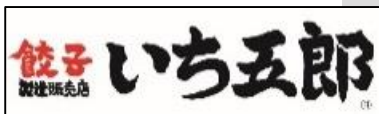
- 5月 高円寺
- 5月 中野
- 5月 町田

<神奈川県>

- 4月 平塚

<千葉県>

- 5月 松戸



(5) 業態転換(一等立地マルチコンテンツ戦略の具体化)

上野6丁目エリアの同じ通りに4業態4店舗出店 (磯丸水産・鳥良商店・いち五郎・五の五)



※「五の五」店舗前から撮影

(6) 店舗展開の状況

3月17日



磯丸水産 ジャンジャン横丁店

3月18日



堺東 いち五郎

4月4日



BISTRO Una Strada (神田)

4月15日



磯丸水産 上大岡店

4月18日



五の五 上野6丁目店

4月19日



きづなすし 秋葉原店

5月31日



磯丸水産 上野駅前通り店

(7) 平成31年2月期業績予想(変更なし)

単位：百万円／下段は構成比

	平成30年2月期	平成31年2月期 (予想)		
		第2四半期	通期	前年同月比
売上高	36,841 (100.0%)	19,365 (100.0%)	39,600 (100.0%)	+7.5%
売上総利益	26,339 (71.5%)	13,921 (71.9%)	28,515 (72.0%)	+8.3%
販売費及び一般管理費	22,810 (61.9%)	12,509 (64.6%)	24,965 (63.0%)	+9.4%
営業利益	3,529 (9.6%)	1,412 (7.3%)	3,550 (9.0%)	+0.6%
経常利益	3,828 (10.4%)	1,565 (8.1%)	3,850 (9.7%)	+0.6%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,934 (8.0%)	895 (4.6%)	2,350 (5.9%)	▲19.9%

通期計画に対して第2四半期における進捗率は、29店舗の業態転換、新規出店の前倒し（前期9店、今期18店）により、コスト増になることを踏まえた。

- ◆ 本資料はSFPホールディングス株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- ◆ 本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されています。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。
- ◆ また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料および当社IRに関するお問い合わせ先】

S F Pホールディングス株式会社

経営企画部

TEL : 03-5491-5869

ホームページ : <http://www.sfpdining.jp/>